

厚生労働省「健康的で持続可能な食環境戦略イニシアチブ」開催のイベントで 「産学官連携で行う健康・栄養課題への取組」を発表

2025年11月20日(木) 14:30~16:30 Tokyo Innovation BaseとWEBにて開催

蒸し豆・煮豆・佃煮メーカーの株式会社マルヤナギ小倉屋（神戸市東灘区:代表取締役社長 柳本勇治）は、2025年11月20日（木）に開催される、厚生労働省「健康的で持続可能な食環境戦略イニシアチブ オープンフォーラム 2025」にて、マルヤナギが参画する、健康・栄養課題に取り組み兵庫県民の健康寿命の延伸と健康格差の改善を目的としたプロジェクト「ひょうご健康的な食環境づくりプロジェクト（愛称：BE WELL）」で行っている、自治体や企業間でのコラボレーション企画に関する取り組みを発表いたします。現地会場では減塩体験ブースにも出展し、うま味を生かし塩分4.3%を実現した昆布佃煮「まるやか煮椎茸昆布」をご紹介します。



（2025年10月4日イベント出展時の様子）

発表内容の骨子

マルヤナギ小倉屋は、日本人が昔から食べてきた豆・雑穀・昆布・根菜などの伝統食材こそが現代人の食生活に必要な食材と考え、今・未来のニーズに合う商品にして製造販売し、その素晴らしさを伝える活動に取り組んでいます。「ひょうご健康的な食環境づくりプロジェクト（愛称：BE WELL）」には2024年3月の立ち上げ時より参画。このプロジェクトは、誰もが自然に健康になれる食環境に向けて、産学官等が連携し、食塩の過剰摂取やフレイルといった健康・栄養課題に取り組むことで、県民の健康寿命の延伸と健康格差の改善をめざしています。マルヤナギ小倉屋は、今回のオープンフォーラムにて、BE WELLの活動のなかで実施している自治体や企業間でのコラボレーション企画の取り組み事例を発表いたします。

「オープンフォーラム 2025」詳細

厚生労働省の「健康的で持続可能な食環境戦略イニシアチブ」は、健康的で持続可能な食環境づくりに取り組む事業者や自治体の事例を共有するとともに、企業による新規取組・新商品等に関する発表を行う機会として、「オープンフォーラム 2025」を開催します。本イニシアチブへの参画の有無にかかわらず、様々な事業者や自治体関係者、報道関係者等の皆様に広くご参加(対面又はオンライン)いただくことが可能です。

◆ 開催日時及び開催方法

日時 : 2025年11月20日(木) 14:30~16:30

会場 : Microsoft Teams ウェビナー

開催形式 : ハイブリッド形式(現地またはオンライン)

※現地会場では参画事業者のブースをご覧いただけます。現地参加をご検討ください。

※オンラインのアクセス先はお申込みいただいた方に事前にお知らせします。

開催場所 : Tokyo Innovation Base (TIB)

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-8-3

JR 山手線・京浜東北線「有楽町駅」京橋口 | 徒歩 1 分

東京メトロ有楽町線「有楽町駅」D9 出口すぐ

東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」1 出口 | 徒歩 3 分

参加対象 : 栄養・食生活と健康の取組にご関心のある事業者・自治体等

食環境戦略イニシアチブの参画事業者・自治体・有識者等

金融関係者

取材を希望するメディア

詳細情報 : <https://sustainable-nutrition.mhlw.go.jp/openforum-2025>

◆ プログラム

1. 開会
2. ご講演「本イニシアチブの取組と全体評価」女子栄養大学 副学長 武見ゆかり氏
3. パネルディスカッション「福島県の食環境づくりの取組と事業者連携事例(仮称)」
4. 参画事業者からの新作発表・新規コラボレーション発表 (マルヤナギ他企業による取り組み発表)
5. 閉会
6. 減塩ブース体験会・交流会(参画事業者にて減塩体験ブースを出展)

◆ 参加方法 (事前申込制)

11月13日(木)15:00 までにお申し込みください。

お申込みはこちら : <https://questant.jp/q/OpenForum2025-3>

※ご不明な点がある場合には、事務局までお問合せください。

◆ お問い合わせ先

健康的で持続可能な食環境づくり推進・広報業務一式受託事業者

株式会社 NTT データ経営研究所

E-Mail : food_environment@nttdata-strategy.com

受付時間 : 平日 10 時~17 時

厚生労働省「健康的で持続可能な食環境戦略イニシアチブ」とは

厚生労働省は、関係省庁の協力を得て、同年 2 月から 6 月にかけて「自然に健康になれる持続可能な食環境づくりの推進に向けた検討会」を開催し、産学官等の連携で栄養面と環境面に配慮した食環境づくりを推進していくことを取りまとめました。このことを受けて、2022 年 3 月に「健康的で持続可能な食環境戦略イニシアチブ」を設立しました。「健康的で持続可能な食環境戦略イニシアチブ」は、食塩の過剰摂取、若年女性のやせ、経済格差に伴う栄養格差等の栄養課題や環境課題を重大な社会課題として捉え、産学官等の連携・協働により、誰もが自然に健康になれる食環境づくりを目指します。

※「ひょうご健康的な食環境づくりプロジェクト(愛称: BE WELL)」は、イニシアチブの主旨に賛同する都道府県組織です。